

2007年度 修士論文・課題研究題目

題 目	修 了 生
住民自治を培う、人材のネットワーク形成について －枚方テーゼの歴史的検証を通して－	岡 田 真由美
地域福祉のあり方と自治体組織の体制 ～合併後を契機とした東近江市の事例から～	栗 田 豊 一
行政と NPO による事業連携の変容 －公・共・私型社会への変革－	櫻 井 あかね
介護・家事労働を担う外国人労働者の権利保障 －社会権からのアプローチ－	太 平 満 恵
介護保険市場における営利法人についての考察 ～地域型福祉構築の可能性と問題点～	中 村 晋一郎
株主総会における議決権の代理行使 －代理人資格を株主に制限する定款規定の有効性について－	佐 川 大 輔
WTO 体制における貿易自由化と環境保護の調整 －中国の視点から－	沈 溪
不快な行為の法的規制 －社会的迷惑行為を題材にして－	田 中 久 美
医薬品および医療行為における特許要件該当性に関する研究	鉄 井 政 俊
「人間宣言」成立過程の考察	中 島 匡 俊
敵対的買収防衛策の動向とライツプランに関する適法性判断基準の現状	畑 中 明 輝
安倍政権のナショナリズム －90年代のナショナリズムと国民の意識による分析－	眞 鍋 航
発達障害者支援法の現状と課題 －発達障害の定義を通して－	丸 山 雅 史
差止請求権の法的構成に関する一考察 －権利論および秩序論を意識して－	三 輪 修 子
日本のワーク・ライフ・バランス推進における課題 －正規労働者と非正規労働者の均等待遇を目指して－	藪 有 理 子
自動車の石油代替燃料で温暖化防止へ ～地域からバイオ燃料普及への可能性～	米 田 須 晴
源泉徴収による所得税の自動確定論の問題点	高 橋 舞
事実上の貸倒損失に係る認定基準の一考察 －興銀事件を題材として－	米 津 均
市街化区域内農地活用の研究 －大阪府守口市を事例として－	大 和 誠
権利確定主義の現代的意義	大 杉 公 祐
公務員法制と臨時・非常勤職員の問題	岸 本 芳 明
「実質主義」からみた租税回避行為の否認の一考察	中 谷 元
冷戦終結後の中蒙関係の変容 －安全保障を中心に論じる中蒙関係－	安 麗 華
外交官東郷茂徳と太平洋戦争 －日米交渉から東京裁判へ－	久 保 健
貸倒損失の認定基準に関する一考察	北 條 美 和
私法上の法律構成による否認についての一考察 －租税回避のみを目的とした取引に焦点をあてて－	近 藤 英 人